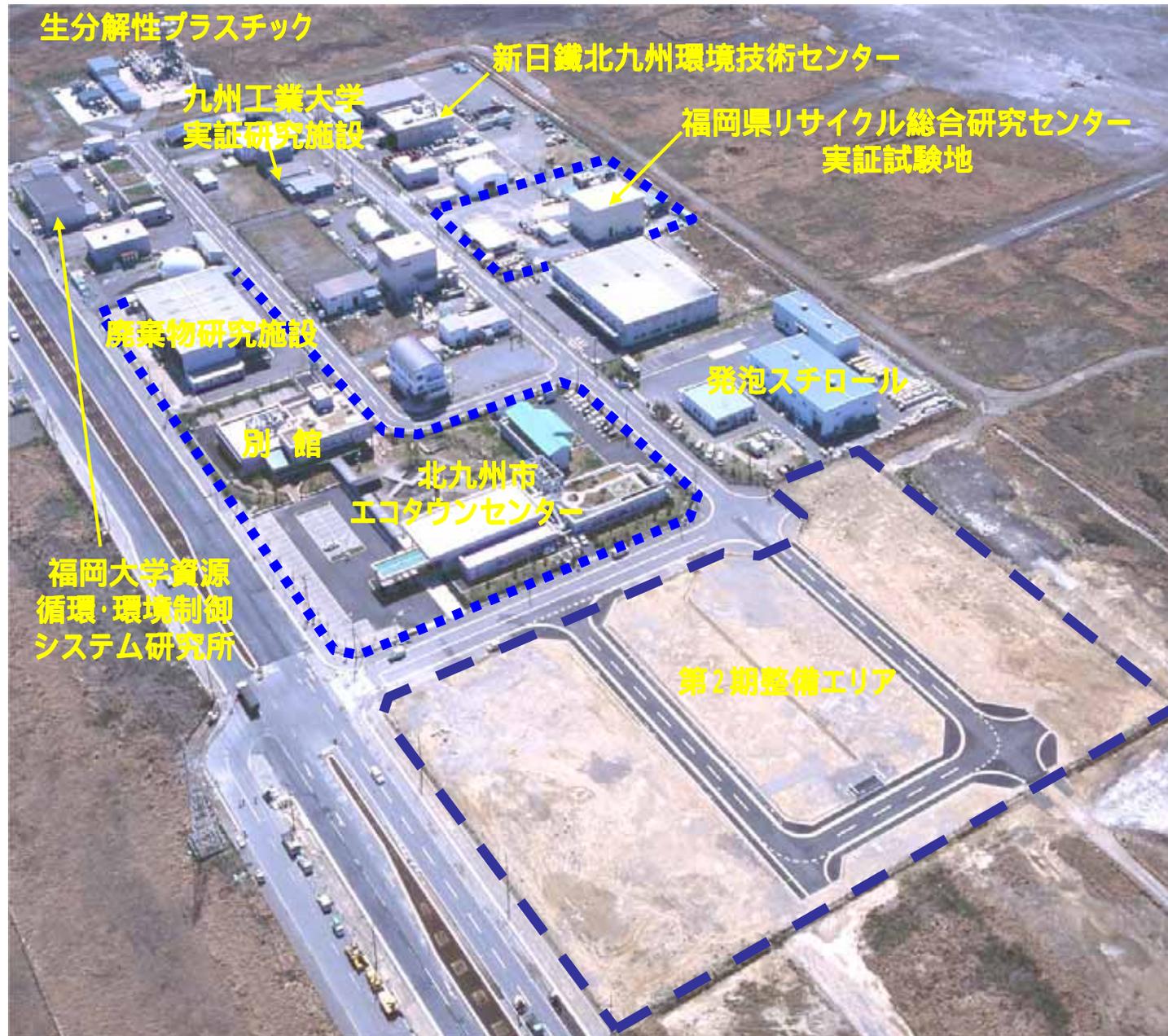


# 北九州エコタウン地区全景



# 実証研究エリア全景

平成17年4月撮影



# 循環型社会構築に向けた研究領域

## <ハード技術>

新エネルギー  
・燃料電池 ・DME 他  
エコマテリアル  
・生分解プラスチック等の素材 他  
環境共生住宅  
アーバンデザイン  
グリーンケミストリー  
ナノ、バイオテクノロジー  
バイオマス利用技術  
環境センシング・分析

### 公害防止技術

・大気汚染対策 ・水質汚濁対策  
・土壌汚染対策 他

### リユース、リビルト技術

中間処理・リサイクル技術  
・分離・選別技術 ・インバースマニファクチャリング  
・焼却・溶融技術 ・バイオマス利用技術  
・有害廃棄物処理技術 他

### 最終処分関係技術

・不溶化技術 ・安定化技術  
・自然再生・修復 他

天然資源

エネルギー産業

製造・流通

REDUCE

市場

REUSE

再利用

再資源化

RECYCLE

エネルギー・熱回収

最終処分

跡地利用

## <ソフト技術>

温暖化ガス排出権取引

EPR(拡大生産者責任)  
環境経営  
LCA(ライフサイクルアセスメント)  
モーダルシフト  
物質収支、エネルギー収支  
環境アセスメント

リース・リユース  
・デポジット ・カーシェアリング 他

PPP(排出者責任)  
静脈物流

リスクマネジメント  
リスクコミュニケーション  
情報公開

## <関連領域>

人文・社会科学系：環境倫理学、環境社会学、環境経済学、環境法学 他  
自然環境保全系：自然修復、ビオトープ 他

# 実証研究エリアに立地する研究施設等

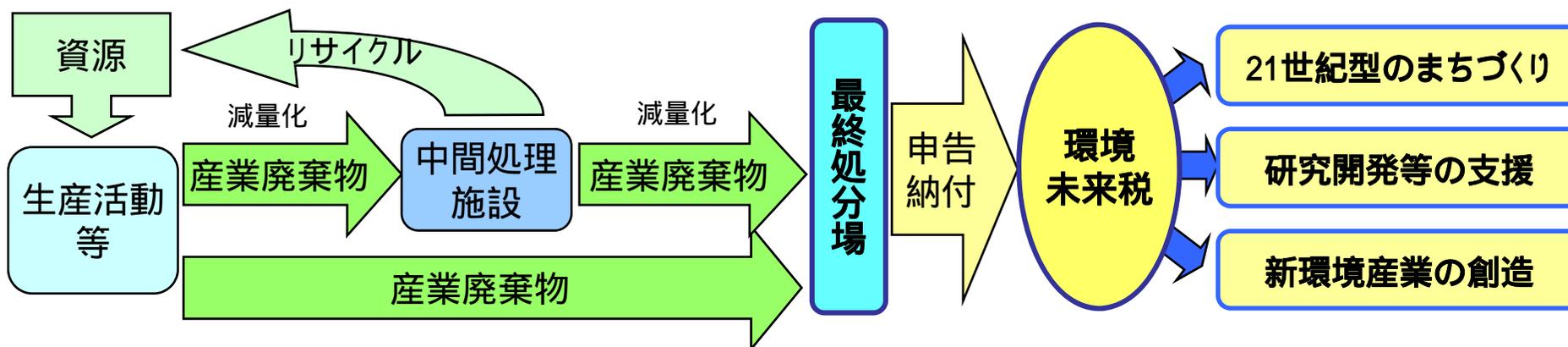


処分場管理、焼却灰リサイクル、汚染土壌浄化、生ゴミバイオプラスチック化、光触媒等の研究

# 北九州市環境未来税

性格	「環境未来都市」の創造に向け、必要な環境施策を積極的に推進するための持続的で安定的な財源の確保を目的とする法定外目的税
納税義務者	産業廃棄物の最終処分業者及び市内の自家処分事業者
税率	H19年度から1000円/トン（暫定税率H15.10～H18年度 500円/トン） 平成18年度 税込 約7.3億円/年（最終処分量約146万トン）
用途	「環境未来都市」の創造 <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の処理と市民にとって快適な環境を両立させた21世紀型のまちづくり</li> <li>・リサイクル・資源化技術等に対する研究開発等の支援(1～1.4億円/年)</li> <li>・資源循環型産業を基軸とした新環境産業の創造 など</li> </ul>

< 環境未来税のイメージ図 >



# 北九州エコタウン事業

投資額：約733億円(PCB含む)  
(市：61億円、国等：263億円、民間：409億円)

従事者数：約1,300人  
(非常勤研究者を含む)

視察者数：約56万人(累計)

外部評価：環境白書、小中学校  
教科書への掲載など



総合環境コンビナート・響りサイクル団地全景



実証研究エリア全景

サーマルリサイクルまで含めた  
我が国初の  
“ゼロエミッション団地”